

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

|       |           |       |              |
|-------|-----------|-------|--------------|
| 事務事業名 | レンタサイクル事業 |       |              |
| 部 局 名 | 都市整備局     | 課(室)名 | 都市計画課        |
|       |           | 電話番号  | 087-839-2455 |

【事業全体概要】まちづくりの目標：道州制時代に中枢拠点性を担えるまち

|         |                    |                  |       |      |                 |        |
|---------|--------------------|------------------|-------|------|-----------------|--------|
| 総合計画    | 政策                 | 快適で人にやさしい都市交通の形成 |       | 主体   | 市               |        |
|         | 施策                 | 自転車利用の環境づくり      |       | 期間   | 平成 20年度～平成 27年度 |        |
|         | 基本事業               | 快適な自転車利用の環境整備    |       | 総事業費 | 621,877         |        |
| 重点取組項目  | 重点取組課題 10          |                  |       | 特定財源 | 国               | 60,000 |
| 関連根拠法令等 | 高松市レンタサイクル条例、同施行規則 |                  |       |      | 県               | 6,757  |
| 事業区分    | 条例移譲事務             | 種別               | 事中・事後 | 市債   |                 |        |
| 事業種類    | 単独                 |                  |       | 他    | 243,931         |        |
|         |                    |                  |       | 一般   | 311,189         |        |

事業の概要  
環境負荷が少なく、機動性に優れた都市内交通手段である自転車の利用環境づくりを進めるため、放置自転車を活用し複数の利用者が相互利用できるレンタサイクル事業を実施し、地域交通の利便性を向上させるとともに自転車の放置防止を図る。

【事業の目的と指標】

|    |   |       |                                      |
|----|---|-------|--------------------------------------|
| 対象 | 市街地中心部における主要鉄道駅利用者<br>(JR高松駅、JR栗林駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅、<br>琴電栗林公園駅)  | 対象指標名 | 市街地中心部主要鉄道駅利用者数(1日平均)                |
| 手段 | レンタサイクルを一時又は定期利用の方法により有料で貸出を行う。一時利用：200円(ただし、24時間の内最初の6時間以内のみ利用した場合：100円)、定期：1か月2,000円(学生1,800円)3か月5,500円(学生5,000円) | 活動指標名 | レンタサイクルの利用可能日数                       |
| 意図 | 自転車利用者の利便性を向上させることで、近距離交通手段としての自転車利用を促進させる。   | 成果指標名 | 放置自転車撤去台数(禁止・整理区域)<br>レンタサイクルの利用延べ人数 |
| 結果 | 機動性に優れ、環境にもやさしい自転車が都市交通において有効な手段として定着し、安全で快適な自転車利用の環境づくりに役立てる。  | 効率指標名 | トータルコスト100万円当りのレンタサイクル利用可能日数         |

【指標値および事業費の推移】

| 指標名     | 単位   | 平成 25年度 | 平成 26年度 | 平成 27年度 | 目標値     | 目標年度    |
|---------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 対象指標    | 人    | 58,378  | 57,742  | 59,589  | 54,000  | 平成 27年度 |
| 活動指標    | 日    | 365     | 365     | 366     | 365     |         |
| 成果指標    | 台    | 4,888   | 3,827   | 3,965   | 4,500   |         |
|         | 人    | 326,257 | 306,580 | 314,949 | 350,000 |         |
| 効率指標    | 日    | 5.83    | 5.32    | 5.36    | 5.5     |         |
| トータルコスト | [千円] | 62,663  | 68,929  | 68,233  |         |         |
| (事業費)   | [千円] | 52,527  | 59,334  | 58,253  |         |         |
| (職員人件費) | [千円] | 10,136  | 9,595   | 9,980   |         |         |

【環境変化等】

| 開始時周辺環境(背景)  | 現状周辺環境  | 今後周辺環境(予測)   | 住民意向分析   |
|--|---|--|--|
| 放置自転車対策、及び新たな近距離公共交通機関を提供するための方策として、自転車等駐車対策総合計画において、既存の駐輪場等を活用したレンタサイクルの導入が求められた。 | 平成 13 年度に本格導入したレンタサイクルであるが、利用促進と利便性の向上を図った結果、事業経費が増大し、収支バランスが崩れてきた。このため老朽化した管理システムを再構築することで、経費の削減と利便性の向上を図り、更なる利用促進による収入増を目指している。 | 管理システムの再構築による、一部ポートの無人化や市民ニーズを踏まえたポートの再配置と平成 25 年 4 月からの料金改定や 26 年度の新デザイン決定などにより、収支バランスの改善を図る。 | 市街地中心部の駐輪場の増加等を含め、総合的な自転車施策展開が必要である。市民は、自転車を快適かつ安全安心に利用できるまちづくりを望んでおり、レンタサイクルもその重要な事業の 1 つである。 |

【妥当性評価】

|  |
|--|
| 1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か  |
| B 現段階では市による実施が妥当である<br>放置自転車を取りサイクル利用する等、制度的に整えるとともに、近距離公共交通機関として市民の利用に供しており、放置自転車対策やまちづくりなど市の施策に直結していることから、市による実施が妥当である。                              |
| 2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか  |
| A 貢献度が大きい<br>利用数は安定しており、広く市内外から認知され、自転車利用の環境づくりに貢献している。また、観光目的にも多く利用され、本市の観光振興にも寄与している。  |
| 3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか   |
| A 必要性はない<br>通勤、通学、買物等の近距離交通手段として、年齢・職業・居住地等、幅広い層に利用があり、市中心部の全ての駅に配置されていることから、拡大・縮小する必要はない。   |
| 4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか   |
| A 影響は大きい<br>通勤、通学、買物、観光等の近距離交通手段として、年齢・職業・居住地等、幅広い層から年間30万件を超える利用があり、事業を実施しない場合の影響については、かなり大きいと考える。  |
| 5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）  |
| A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している<br>市民代表の委員等により組織されている、高松市自転車等駐車対策協議会において意見を聞き反映している。また「イルカ」の導入など民間事業者と連携し、利便性の向上に努めているほか、レンタサイクルのデザインやマークを公募により決定している。 |

【有効性評価】

|   |
|---|
| 6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか   |
| B 向上余地が考えられる（中小程度）<br>レンタサイクルの利用者数向上のため、周知・啓発に努める。  |
| 7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）   |
| A 実施済み/実施する必要がなかった<br>平成25年4月から、収支バランスの健全化を目指し、料金改定を行った。また、26年度に公募により決定した新デザインを、新たに約650台の車両に塗装した。 |
| 8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか   |
| D あまり達成できなかった<br>平成26年3月の天満屋撤退による影響で、瓦町ポートの利用者が大幅に減少したことから、延べ利用者数が若干減少した。                         |

【効率性評価】

|  |
|--|
| 9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか  |
| B 目標どおり達成できた<br>365日、レンタサイクルの貸し出しを行った。 |
| 10. コスト縮減ができたか                         |
| C 少し縮減できた<br>事業改善等により、職員人件費の縮減を図っている。  |

【一次評価】

|   |  |    |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
|---|--|----|--|-----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|----|--|--|
| 評価区分  | 継続   |    |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
| 本事業は、放置自転車対策及びコンパクトで持続可能なまちづくり施策に直結しており、継続することが必要である。 |  |    |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
| 改革案   |  |    |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
| 内容  | 期待効果   |    |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
| 26年度に決定した新デザインを施した車両を順次増やすなど、利用促進に努める。                | <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td rowspan="3"> </td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 成果 |  | コスト |    |    | 削減 | 維持 | 増加 | 向上 |  |  |  |  |  | 維持 |  |  |  |  | 低下 |  |  |
| 成果  |  |    |  | コスト |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
|   |  |    |  | 削減  | 維持 | 増加 |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
|   |  | 向上 |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
|   |  | 維持 |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
|   |  | 低下 |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |
|   | 阻害要因   |    |  |     |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |  |    |  |  |  |  |    |  |  |

【二次評価】

|   |    |
|---|----|
| 評価区分  | 継続 |
| 本事業は、中心市街地の近距離交通機関の役割を担うとともに、放置自転車対策にも寄与する事業であり、自転車利用を促進する上でも、継続することは妥当である。 |    |